

# 議会ウォーク



## ココに注目!

どうなる? 地域交通《令和5年度予算》 P2

ここが聞きたい《一般質問》 P7

常任委員会報告 P12

表紙 / その声を後世に紡ぎたい(P14)  
東峰学園 東野元校長



# 令和5年度 当初予算 地域交通

令和5年3月定例会では令和5年度一般会計及び特別会計予算が可決成立しました。JR日田彦山線BRT化と併せて地域交通再編が進んでいます。令和4年度末に計画が完成し、令和5年度に乗合タクシーの本格実施が予算化。一般質問及び予算特別委員会でも、開始時期やAI導入にあたる費用対効果など多くの質疑が出ました。議会としても予算執行にあたり、担当課から随時進捗状況の報告を求めてまいります。

## AIを活用した乗合タクシーの概要

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 営業区域  | 村内全域               |
| 運行事業者 | 村内タクシー事業者と体制構築予定   |
| 運行車両  | 普通免許で運転できる車両(2台程度) |
| 運賃    | 有料(300円前後)         |
| 運行開始  | 令和5年夏(AI導入は秋以降)    |
| 予約方法  | アプリまたは電話           |
| 決済手段  | 現金、クレカ(アプリ)、ICカード等 |
| 導入予算  | 約4,445万円(令和5年度予算)  |
| 運行経費  | 約1,000万円(令和6年度以降)  |

## 一般質問および予算質疑

どのような運行方法か？

**議員** どこで乗り降りするのか。  
**担当課** 条件が悪いところ以外は基本的には玄関先から玄関先への移動で行う。

現在の交通機関の存続は？

**議員** 高齢者外出支援タクシーチケット助成、いずみ館バスは廃止となるのか。  
**担当課** 既存のタクシーと共存する乗合タクシーが目標のため、タクシーチケットは廃止しない。いずみ館バスは廃止となる。

**議員** 西鉄バス杷木線の赤字補てん予算が例年同様だが。

**担当課** 乗合タクシーは村内路線で行うため、東峰村から杷木までは、西鉄バスが継続して運行。

費用対効果は？

**議員** 計画では乗合タクシー利

用目標が、一日約7件だが、AI導入する必要性は。

**村長** 今のところ実現可能な最低目標としている。

**議員** タクシーチケット助成との費用対効果の比較は。

**村長** 西鉄バスは国道だけの路線だが、乗合タクシーだと全村対象となるため、現状より予算が多少増えても、地域交通をやり遂げなければならない。

実施を慎重に行うべきでは？

**議員** 議会が許可した訳でもなく、もう車両購入まで予算計上されている。議員に説明を行い、それからの計上でもよかったのでは。

**村長** BRTにつながる形の地域交通として始めてきて、補助金の関係もありこのような予算となった。審議を深めるための努力が必要だった。

率的に対応できるか進めたい。

**議員** 思ったとおり見込利用者がなければ、やめる決断もあるのか。

**村長** 地域交通は、計画をもとに毎年効果等を検証するため乗合タクシーを村の判断でやめることはない。

BRTとの関係性は？

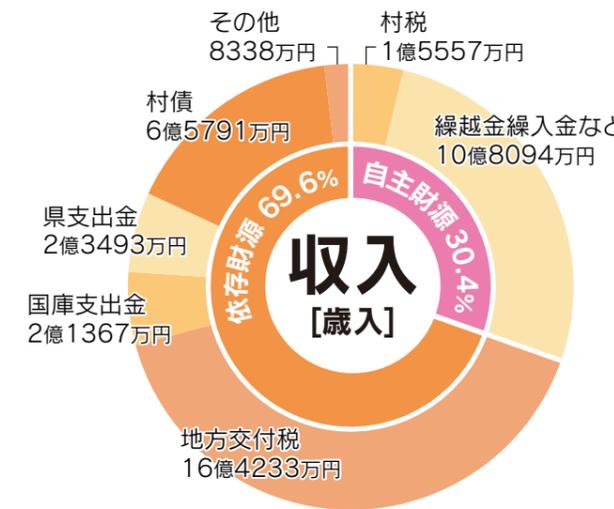
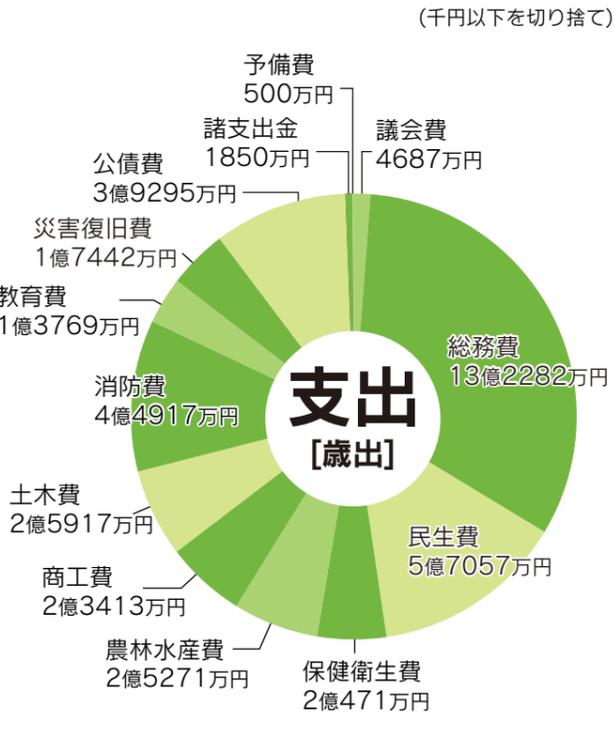
**議員** 村民のための地域交通は二の次で、BRT開業ありきの地域交通ではないか。

**村長** 開業に標準を合わせて、スムーズにBRTに繋ぐための二次交通を検討しており、このスケジュールとなった。

**議員** BRT開通時に観光客が増加し、AIを導入するほど利用者は増えるのか。

**村長** 住民のニーズにいかにか効

## 一般会計予算 40億6874万円(3.0%増)



## 特別会計予算

|         |                  |
|---------|------------------|
| 簡易水道    | 7096万円 (3.5%増)   |
| 国民健康保険  | 3億1894万円 (5.7%減) |
| 後期高齢者医療 | 4154万円 (4.3%増)   |

# 質疑あれこれ

## 今年度は複式学級になるの？

**議員** 今年度小学校の複式学級になる話があったが。

**教育長** 県に申請し、1年目に限り緩和措置として県費教員が配置されるので複式学級にならない。今後も県費教員を獲得したい。

## 子ども館の見守りはどうなっているの？

**議員** 地域活動指導員の他に1〜2名つける理由は。

**担当課** 指導員の人材育成と、子ども館利用者が多いため、人数を増やしている。

**議員** 3月31日までは新1年生も保育所で預かってもらえるが、4月1日からは保護者等誰かが見ないといけない。学童保育があるところは、4月1日から入学式まで預かってもらえるが、村にはない。今後、子ども館での

**議員** 参加者には2000円、参加できなくて記念品を受け取った方は1000円か。

**担当課** 本事業は実績で補助している。参加者は2000円、参加できなかった方は1000円を補助する。

## なぜ紙のプレミアム商品券のデジタル化

**議員** 今年度は、商品券全額をデジタル化し、紙の商品券を発行しない予算。お年寄りやスマホを使えない人のケアが大事ではないか。

**村長** 令和5年度以降の事業では、1000万円以上のデジタル商品券の販売かつ、販売総額の20%以上がデジタル化しないと、福岡県の支援が無い。また、事務省力化のためにデジタル化を進める。

**議員** デジタル化して、今までの紙の商品券のように完売できるのか。スマホを使わない人にカードを配布するようだが、村民は対応できるのか。

動きは。

**担当課** 現在、子ども館は学童等ではないので、4月1日以降の新入生である1年生を見ることはしていないし、今後も見つもりはない。

## どう進めるの？地域コミュニティの協議

**議員** 農林業振興大会でご講演された島根県中山間地域研究センターの東(あずま)先生と協議して、住民の意識醸成を進め、単純な委託にならないようにすべきでは。

**担当課** 東先生と協議し、住民の意識改革を進める。

**議員** 地区担当職員が地区住民と対話し、地域や村全体の状況を把握して、協議会設立に反映すべき。コンサルが計画して住

**担当課** 一気に変える場合、説明をしっかりとしなければいけない。佐賀県上峰町で実施しているカード配布を参考に、導入方法や住民が理解できる広報を考えていきたい。



佐賀県上峰町で配布しているQRコード入りカード配布

## 尾崎地区で行う農地区画整理とは？

**議員** どういった事業を行うのか、事業内容は。

**担当課** 農地の将来計画を策定する「人・農地プラン」において、その後の取り組みについて栗松地区が手を挙げた。本年度はその計画の中で、尾崎地区をモデルとして通常の圃場整備ではなく、現状の形を活用した農地の集積・圃場整備を行う。受益者負担は20%。

民の意見を聞くよりも、現実的なものになると思うが。

**担当課** 東先生との協議が決まれば、計画を練り直す。地区担当職員も入って、一緒に協議していく。

## 誰がするの？ほしゅ楽舎の運営

令和4年度事業で完成したほしゅ楽舎は、指定管理者を募集したが応募はなく、令和5年から村直営で運営が開始される予定。

**議員** 直営で雇用される方が、今後指定管理を受けられるような団体・組織化を進めていくのか。または指定管理者を再度募集するのか。

**村長** そのまま横滑りではなく、3年を目途に指定管理者公募を進めたい。

**議員** 現在地域おこし協力隊を募集しているが、村として何を求めるのか。

**担当課** 大枠では運営・企画を行っていたきたいが、詰め切れていないのが現状。

**議員** この事業で最低限の面積等の条件はあるのか。

**担当課** 下限面積はない。県費補助の上限が3000万円。

**議員** どれくらいの規模の区画整理か。他の地域も計画を作れば、可能か。

**担当課** 図面上では2.5ha。県事業なので、事業の情報が入り次第、中山間地代表に情報提供はしていく。

見積書の精査などを徹底するよう、職員に指示していく。

**議員** 合併当初は、当初予算25億円、決算で30億円ぐらいだった。合併から人口が1000人減少しているのに、予算規模は大きい。将来の適切な予算は。

**担当課** 30億円前後に収めるべきだと思う。財政状況を考慮して年度計画策定を考えている。

# 総括質疑

## コンサル任せになっていないか？

**議員** 今年度もコンサルタントに委託する事業が非常に多い。再度、委託すべき事業なのか、職員が協力し合って実施できないかを精査すべき。委託する場合は、業務の質を落とさずに、他町村との情報交換・過去の業務との比較・専門家の助言等を参考にして、予算より減額する努力が必要ではないか。

**担当課** 限られた職員数で、日常業務以外ものはコンサルに委託せざるを得ない場合もある。その上で、コンサルまかせにしない、業務内容や

## 東峰村の適正予算は？

**議員** 今年の予算総額が40億円を越えている。災害復旧工事の減少にもかかわらず、昨年度の予算より多い理由は。

**村長** ふるさと納税の増加や、防災無線の更新、デジタル化、地域交通、日田彦山線などの事業で膨らんだ。



ほしゅ楽舎

## 今年度から敬老のお祝いを集合してすると、1000円/人加算

**議員** 対象者が集まって開催すると、一人当たり1000円加算になる決定をした経緯は。

**担当課** 地域福祉計画のアンケート結果から今回予算化した。

# ここが聞きたい!

## 一般質問

### 令和5年東峰村議会第1回(3月)定例会

| 質問順 | 議員名                | 質問事項(色付きは記載事項)  | ページ |
|-----|--------------------|---|-----|
| 1   | ひぐち あきら<br>樋口 朗    | 筑前あさくら農協の小石原ATMの再設置支援について<br>大行司駅への進入道路の改良について<br>大行司駅前広場の整備について<br>住宅建設候補地の選定について<br>旧宝珠山小学校グラウンドの活用について<br>地域おこし協力隊の派遣先について | P8  |
| 2   | かじわら はくお<br>梶原 伯夫  | 生活応援商品券について<br>道路の除雪について<br>村政について  | P8  |
| 3   | たかはし ひろのぶ<br>高橋 弘展 | 地域交通について<br>ほうしゅ楽舎について<br>定住(移住)施策について<br>空き家調査と空き家バンクについて  | P9  |
| 4   | ささき たかし<br>佐々木 孝   | 農林業振興の活性化に向けて<br>空き屋バンク及び村営住宅の現状について<br>村のデジタル化推進の取り組みについて  | P9  |
| 5   | たかくら みきえ<br>高倉 美紀恵 | 熱中症の対策について<br>横断歩道の整備について   | P10 |
| 6   | わだ まさゆき<br>和田 将幸   | JR日田彦山線BRT運行について<br>国道211号線、いずみ館・学園入り口について<br>竹棚田レストランについて  | P10 |

一般質問の詳細は  
議事録をチェック!!



### 第1回定例会(3月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

| 区分   | 審議結果                          | 議案一覧  | 黒川隆康 | 佐々木紀嘉 | 大蔵久徳 | 高橋弘展 | 梶原伯夫 | 高倉美紀恵 | 佐々木孝 | 樋口朗 | 和田将幸 |
|------|-------------------------------|---|------|-------|------|------|------|-------|------|-----|------|
| 条例   | 可決                            | 東峰村青少年育成村民会議条例の一部を改正する条例の制定について             | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村行政不服審査会条例等の一部を改正する条例の制定について              | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について            | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について   | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について      | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について   | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について          | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 公益法人等への東峰村職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について     | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について         | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について     | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について         | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について     | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 東峰村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について                | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 可決   | 東峰村手数料条例の一部を改正する条例の制定について     | ○   | -    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   |      |
| 可決   | 東峰村職員の再任用に関する条例を廃止する条例の制定について | ○   | -    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   |      |
| 補正算  | 可決                            | 令和4年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第6号)について               | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 当初予算 | 可決                            | 令和5年度東峰村一般会計歳入歳出予算について                      |      |       |      |      |      |       |      |     |      |
|      | 可決                            | 令和5年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について                | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決                            | 令和5年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について              |      |       |      |      |      |       |      |     |      |
|      | 可決                            | 令和5年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について               |      |       |      |      |      |       |      |     |      |
| 人事   | 同意                            | 甘木・朝倉広域市町村圏事務組合等公平委員会委員の選任について(倉掛俊一氏)       | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 同意                            | 甘木・朝倉広域市町村圏事務組合等公平委員会委員の選任について(井上恒夫氏)       | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |

### 予算審査特別委員会議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

| 区分   | 審議結果 | 議案一覧                                 | 黒川隆康 | 佐々木紀嘉 | 大蔵久徳 | 高橋弘展 | 梶原伯夫 | 高倉美紀恵 | 佐々木孝 | 樋口朗 | 和田将幸 |
|------|------|--------------------------------------|------|-------|------|------|------|-------|------|-----|------|
| 当初予算 | 可決   | 令和5年度東峰村一般会計歳入歳出予算について(P2~5)         | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決   | 令和5年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について(P2~5)   | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決   | 令和5年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について(P2~5) | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
|      | 可決   | 令和5年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について(P2~5)  | ○    | -     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |



### 大行司駅前広場はいつ着工するのか ——村長 基本計画を策定し、検討する

**議員** 九州北部豪雨で倒壊した大行司駅舎は、BRT決定前に建築して3年以上も鍵がかかったまま。民家が倒壊した駅前広場はカラーコーンを置いただけで、同じ場所なのに、ちぐはぐな村の対応。広場はいつ着工するのか。

**村長** 村の顔として整備しなければいけないが、民地や水路がある。基本計画を策定し、検討する。



旧宝珠山小グラウンド(中学校側)

### 旧宝珠山小学校グラウンドの活用について

**議員** 旧宝珠山小学校グラウンド(中学校側)は、通園・通学の公共交通・生活の利便性・防災の優位性が高く、用地買収も不要。公営住宅の候補地に適しているのでは。

**村長** 山つき以外の場所は、活用が十分検討できる。地形等、さまざまな条件を考えた上で、決定したい。



災害後すぐ完成した大行司駅と未だに手つかずの駅前広場



### 移住定住施策は働く女性目線か ——村長 保育に関する支援体制は充実している

**議員** 男性も女性も仕事をし、育児にも参加する時代において、女性も正社員で働いている。仕事と育児を両立できる環境は整備されているか。

**村長** 結婚・出産・子育てに関する重点的な取り組みの中で、保育環境の充実を掲げている。具体的には子育て支援金の支給や保育料、副食費の完全無償化また、延長保育の実施等、保育に関する支援体制は充実している。

**村長** 土曜日の過ごし方は、家庭での生活が原則。土曜日の居場所は、村として具体的な取り組みは行えていないというのが実状。子どもの成長・発達や安全確保のためには、家庭や地域、村の連携した取り組みが必要であり、検討する。

**議員** 保育については、注目されている兵庫県明石市よりも進んでいると思う。しかし、保育所から小学校上がる際は「小1の壁」と言っていて、環境が大きく変わる。土曜日でも共働きの方がある中で、土曜日の児童保育についての考えは。



子ども館



### 商品券を農協灯油配達に使えないのか ——村長 農協の決済の関係で使えない

**議員** 生活応援商品券が農協の灯油配達に使えないのはなぜか。

**村長** 農協で大規模な決済システム改修等が必要になるため、プレミアム付き商品券を含めて使えない。生活応援商品券については、村として検討が十分ではなかったことを反省している。

**議員** 農協との交渉、協議はしなかったのか。

**村長** 要望は出したが、最終的に2月までに対応できなかった。

### 除雪について

**議員** 村内の国・県道は生活道路なので、除雪基準に達していなくても除雪できないか。

**農林建設課長** 県の管轄になるので連絡は取っているが、うまくいかないところもある。橋梁の所や車両が動きにくいところ



除雪風景

は、融雪剤の散布等で対応をしている。  
**議員** せっかく村独自で除雪車を持っているので何とかならないか。  
**農林建設課長** 国・県道については、東峰村から県に状況の連絡や要望を行っている。

●東峰村内の除雪について  
国・県道は県管轄のため、村の裁量で除雪が行うことができません。村道は、村の基準に沿って、担当課の裁量で除雪が行われます。



### デジタル化へ向けた取り組みは ——村長 AIオンデマンドバスを導入

**議員** テレワークテラス宝珠の利用者は。

**村長** 昨年6月に開所し、1月末までの利用者は、延べ356名。内、県外利用者が延べ52名、利用企業数が延べ39社。その内1社は当初からの利用者である。

**議員** NTT西日本とはどのような提携をしたのか。

**村長** 来年度予算には、プレミアム商品券、地域交通の電子決済等を計上している。全体的なデジタル技術を導入するにあたって、様々なアドバイスと協働・協調の中で進めていくことを目的に、連携協定を結んだ。

**議員** AIオンデマンドシステムは、実証実験が短かったのもう少し利用状況を把握して取り入れるべきでは。



(海外の例)  
スマホでタクシーを呼ぶことができ、目的地までの経路と料金が表示される

※AIオンデマンドシステム  
人工知能が利用者の要望に応じて、配車やルート等を計算して導き出す。



高倉 美紀恵 議員

### 熱中症対策は怎么样了なっているか

——住民福祉課長 熱中症アラームを予算化し対策を強化する

**議員** 異常気象に伴い、高温多湿の夏が予測される。熱中症は高齢者とは限らないが、高齢になると暑さを感じにくいいため、熱中症アラームの設置が大切である。導入する数と貸与する対象者は何名か。

**住民福祉課長** 10台ほど予算化している。具体的な基準は決めていないが、集落支援員が訪問し、年齢や状況等が一致でないので協議を行いたい。

**議員** 5月くらいから暑くなり、熱中症が予想されるので、対策を始めたほうがよいと思う。早目の注意喚起を考えているか。  
**住民福祉課長** 課としては、早期の声かけ、水分補給・室温調整等を啓発する。新型コロナウイルスの集団接種の機会を利用して声か

けを行う。

**議員** 熱中症はなぜ起こるのか、水分摂取や身体を冷やす必要性等を診療所の先生から広報紙・東峰テレビで教えていただきたい。防災無線を利用して東峰村の一番注意すべき時間を知らせ、タイムリーに注意喚起できないか。

**住民福祉課長** 定期的な声かけはできても、状況に合わせては今のところ難しい。



熱中症警戒アラートポスター

**議員** 専用道の安全対策や災害についての不安の声に、東峰テレビ等で村民に伝えると言っていたが。

**村長** 今のところ実施していない。JRと定期的ではないが、協議は行っている。JRは運輸局や県警と調整しており、安全性等が確定され次第、広報していく。

**議員** 全国でローカル路線の廃止・縮小の中、公共交通を村に残すためには、沿線振興を迅速に進め、利用者数を増やすべきでは。

**村長** 令和4年度は基本構想、5年度は基本計画を策定する。その中で実現できる分は、一日でも早く行っていく。



和田 将幸 議員

### BRTに関する安全性等の説明会は

——村長 今のところJRが実施する計画はない

**議員** 開通前の今、どれだけ東峰村をPRできるか、今後に繋がられるかが、地域振興や公共交通を守る面からも大切ではないか。

**村長** ハード面は時間がかかることを了承いただきたい。村では観光アクションプランの中で一つ、二つできることをやろうと思う。また、県のプロジェクトチームでも開通に向けた取り組みを行っている。開通に向け、盛り上げていきたい。



アスファルト舗装のBRT専用道 (宝珠山駅周辺)

## 議員定数調査に向けて始動

講師を招き、他市町村の現状を探る

昨年12月定例会に議員定数調査特別委員会の設置を行い、今年に入り早速プロジェクトチームでの協議が行われています。まずは、スケジュールの調整(いつ最終決定するか等)を行い、



えとうとしあき 江藤 俊昭 教授 (大正大学)

他市町村の現状調査や定数を見直すにあたっての議会のあり方を勉強するために、講師の選定にあたりました。福岡県町村議長の助言を受け、4月より大正大学の江藤俊昭教授にアドバイザーになっていただくことになりました。江藤教授との日程調整を行いながら、6月定例会後に、全議員での勉強会を検討しております。

### 今後のスケジュール

- ・ 令和5年度
- ・ 講師を招いて、勉強会を実施
- ・ 先進地視察
- ・ 構想づくり
- ・ 令和6年度
- ・ 構想をもとに、住民説明及び意見交換
- ・ 素案作成
- ・ 最終決定

## コロナの先に

東峰学園 編



東峰学園 樋口 教頭・梶原 校長

3月2日、梶原校長・樋口教頭にお話を伺いました。

### 学校はどのような影響を受けましたか?

**校長** 2020年2月下旬の全国一斉休校の指示により事態が一変しました。教育委員会と相談し、文科省のガイドラインを踏まえて、「児童生徒の学ぶ意欲」を低下させないためにどうすればいいかを考えました。

**教頭** 検温器を村にすぐ設置していただき、外部からの面会も玄関で対応しました。校長は見えないコロナに対して『人権を守る大切な』

を児童生徒に話しました。学習については、東峰テレビの協力で番組を制作しました。目の前に児童生徒がいる授業を心掛けながら、教育テレビに負けない内容を届けました。

**校長** 運動会・文化祭等の行事でも工夫を重ね、参加できない家族にも活動を、ユーチューブを使って発信し、現在も行っています。

これからもICTを利用しながら、学習意欲を低下させないよう、そして生き生きと学校生活を過ごせるようにと思っています。

## どうする? 議員定数

総務常任委員会活動報告

委員長 大蔵 久徳  
報告委員 高倉 美紀恵

日田市に聞きました

集落支援員の活動は?

昨年9月議会一般質問において、集落支援員を地域コミュニティにおいて活動していく考えが村長答弁されました。そのことから、他市町村での集落支援員の業務内容や地域コミュニティのあり方を調査しています。その一環として、2月20日に日田市まちづくり推進課を訪問し、集落支援員の活動と住民自治組織について話を伺いました。

日田市の集落支援員

東峰村との活動の違いは?

日田市では、周辺部の急激な人口減少や過疎化、高齢化により、集落機能が低下してきている。そこで、地域の実情に詳しい方が「集

可能なことや、夕方～夜間の業務や会議に参加することも。

2.業務内容が

高齢者福祉だけではない

- ・個人宅への訪問
- ・聞き取りや身の回りの困りごとへの対応
- ・集落の巡回
- ・空き家や耕作放棄地の把握や関係機関との活用策の検討
- ・地域イベントの手伝い
- ・収穫祭やマルシェの開催支援

- ・団体の事務支援
- ・有償ボランティア団体の事務支援

- ・地域コミュニティの創出
- ・集落支援員カフェの開催
- ・休耕田を利用したふれあいの場
- ・災害時の支援

- ・平成29年豪雨災害による地域ニーズ調査、ボランティア団体に地域要望をつなぐ等

※地域の既存団体が、同様の

業務を行っている場合もあり、調整が難しい。例えば、民生委員・農業委員など。

3.地域おこし協力隊と

一緒に活動も

日田市の地域おこし協力隊は、市からのミッション（業務）を行う隊員と地域支援を行う隊員にわかれている。地域支援を行う隊員は、集落支援員と協働しながら業務を行っている。

日田市では、令和5年度以降集落支援員の活動内容の見直しが図られます。地域住民と市が「集落のあり方についての話し合い」を実施し、「地域課題を解決するために取り組むべき活動」を実践していくそうです。東峰村でも、令和5年度から本格的に検討が始まる地域コミュニティについて、総務常任委員会も調査していきます。

経済常任委員会活動報告

副委員長 梶原 伯夫  
報告委員 和田 将幸

コンサルに聞く

どうなる?地域交通

3月22日に、村と地域公共交通計画のコンサル契約している九州経済研究所(鹿児島市)へ視察に行きました。

現在、ほとんどの自治体で問題なのが、人口減少が進んでいて公共交通利用者が少ない。地域の公共交通を便利にしたいという声もあるが、最近では公共交通をどう存続させるかの声が多くなっている。東峰村においても公共交通事業者が限られている。

九州経済研究所が見た

東峰村は?

東峰村において特殊な

が、BRTが開通することと、それに合わせて福岡県の支援が他の地域より厚くなり手厚いので、県のサポートを活用して進められる。

1.生かすべきポイント

※ 自家用有償旅客運送の制度を活用して、普通車二種免許を持つていなくても、有料の運行サービスが出来ることになる。制限はあるが、交通空白地である東峰村でも活用可能な制度です。

※自家用有償旅客運送

バス・タクシー事業が困難な地域で、市町村やNPO法人等が、白ナンバー車両を用いて提供する運送サービス。

2.効率的な運行に向けて

AI活用型オンデマンドシステムの導入。村内であればどこでも利用可能で、運賃が安く、待ち時間が少ない運行が可能である。将来的には隣接市町村までの運行も検討していきたい。

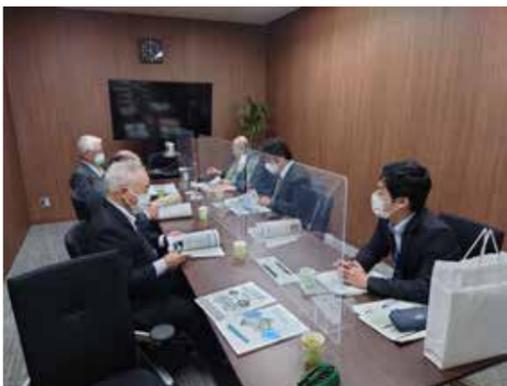
3.この先を見据えて

課題になるのが、杷木までの運行をすると、西鉄バスとの協議も必要になる。便数を減らすにしても、東峰村だけでなく、杷木・浮羽・日田との協議が必要。そして利便性を求めれば当然コストもかかる。高齢化等を考え将来的に自由経路は確保したい。利用受付は、アプリと電話対応を考えているが、電話対応の場合アプリ入力が必要になるため、人員確保が必要である。

その他、

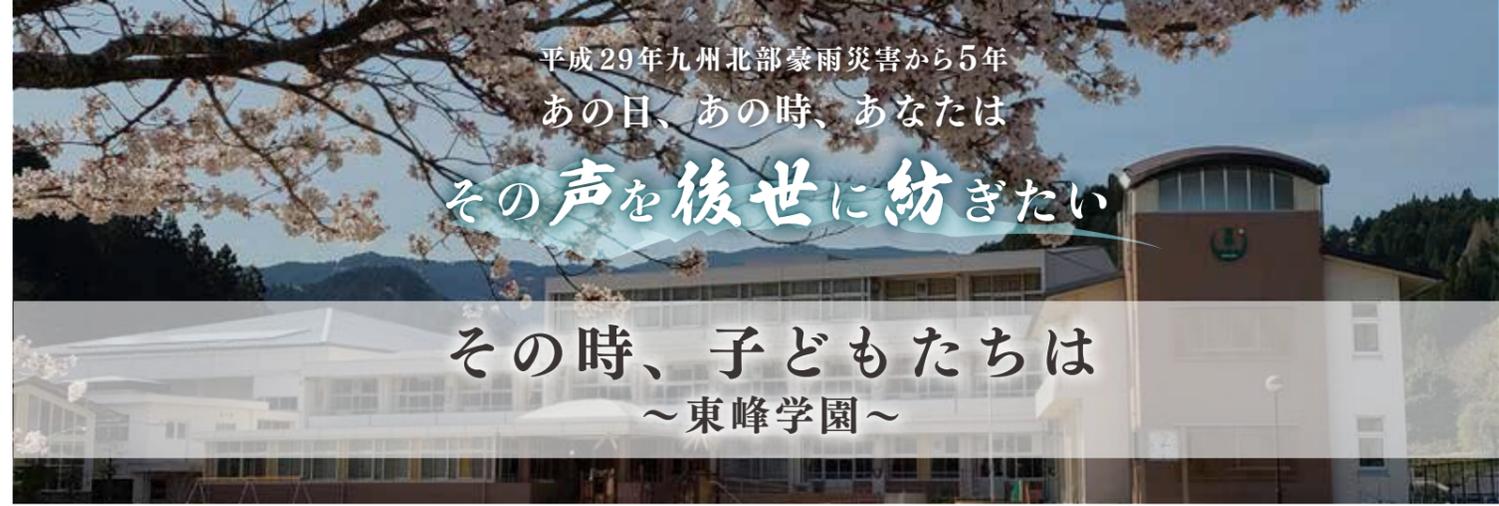
- ・ AIを導入しない方法
  - ・ 東峰村と杷木間の接続
  - ・ 西鉄バス運行負担金
  - ・ 貨客混載
  - ・ 費用対効果
  - ・ ランニングコストなど
- いろいろな疑問について意見交換してきました。

委員会として、地域交通の課題について調査・議論し、改善に向けて提言していきます。



# その声を後世に紡ぎたい

## その時、子どもたちは ～東峰学園～



不安の中で過ごす1日目の子どもたち

「夕ご飯を食べました」「皆落ち着いて生活しています」「寝る準備をしています」などの事実を伝えるようにしました。  
**そんな中、子どもたちも不安だったでしょうがどんな様子でしたか。**  
一年生など寂しさから涙ぐむ子もいましたので、不安が広がらないように、別室で養護教諭に見てもらい、『一・二年生と七・九

年生』『三～六年生と八年生』でグループを組み、多目的室とランチルームの2カ所に分けて過ごすことにしました。小中一貫校のよさで、中学生や上級生が下級生を「大丈夫だよ」と言って励ましてくれていました。  
先生方が給食の食材を使って食事を準備してくれたので、子ども達は温かいご飯を食べることが出来ました。近くの方が懐中電灯を準備してくれたり、役場



2日目の夜、少し安心した子どもたち

職員が発電機を持ってきてくれたりしました。また、職員と中学部の生徒が体育館からマットを運んで床にひき、トイレの用水のために側溝からバケツに水をくんで準備してくれました。飲料水は、水道の水を煮沸したりと、皆が一つになって動いてくれました。夏場だったので、水泳のためのバスタオルを持っている子が多かったため、それを使って寝ることも出来ました。  
先生方は、誰もが懸命に子どもの世話をします。疲れ果てて翌日動けなくなってしまうのはいけません。そこで、子どもたちの安心も兼ねて夜間は2人ずつ2時間交代でシフトを組んで、1階と2階トイレの前に待機してもらいました。  
2日目の昼前から迎えに来られる方には来てもらいました。引き渡す時は、『引取人の名前、日時、どこに戻るか』を記載する一覧表(下部写真)を作り、受付を

実際に使った引き渡す際の一覧

設置しました。保護者以外の方が引き取る際は、保護者の了承を得るということ徹底しました。  
**子どもたちも少し落ち着いてきた後、どんなことに気をつけられましたか。**  
非日常的なことが起きたので、穏やかに日常を過ごそうと、2日目からは昼間は各教室で先生方が授業をしたり、本を読み聞かせたり、トランプなどで遊んだりし

東峰学園で子どもたちと先生方がどうしていたか、当時の校長だった東野正美先生にお話を聞きました。



**災害の日のことを思い出してお話してください。**

あの日の昼過ぎ、ランチルーム入り口と卓球場入り口で雨漏りが発生しました。その後、小学部のクラブ活動で指導に来られる予定だった鼓地区在住の方から、「先生、家の前の川がすごいっちゃん、とてもじゃないけ

ど、学校に行けんよ。」と電話がありました。そこで、職員に周囲の状況の確認をしてもらいました。  
大雨警報も発令されていたので、下校を午後3時30分としてその対応をしていた時、平成24年の大雨を経験していた先生が「5年前と雨の降り方が違う」と言ってきました。保護者に下校時刻変更を伝えるメールを作成し、送信しようとしたが、その時点で学校のパソコンからのメールは不通、そして停電。委員会から、「道路が寸断されてスクールバスが動かない」「子どもは学校待機」という連絡が入りました。村外にいた職員に電話を入れ、その職員のスマホから保護者にメール配信。同時に村の防災無線で「子どもは学校待機をします」の連絡を行い、子どもたちを待機させました。  
そうする内に、教育長から「子どもたちを学校に泊めることが



食事の準備をする先生方

できるか」という問い合わせがあり、「どこにかやれます」と返事を想定して、「もしかしたら子どもたちは帰れないかもしれない。1泊2日、次の日の昼までを想定して、明るいうちに食事などできることを準備してそれに備えよう。」と話しました。(実際は2泊3日になりましたが)  
そのうち、スマホも使えなくなり、保護者への連絡は防災無線のみ。周りの状況が分からない

て過ごしました。子どもたちがこの状況下でも支え合ったからこそ、このように過ごせたと思います。ただ、皆で支え合ってはいましたが、お迎えの方と一緒に学校外に出た時に、被災の様子を見てショックを受ける子どもいました。

後日、「その日は職場から帰宅中、道路が寸断されて自宅に帰れなくなり、車の中で一夜を過ごしたが、テレビで子どもたちが学校にいることを知り、安心しました。」という保護者からの声を聞き、メディアのありがたさも感じました。

翌年の4月、三輪小に転勤になりましたが、何か想うところがありましたか。

筑前町や三輪小学校の皆さんから義援金などを沢山いただいた

ていました。子どもたちにはお礼を言い、防災の日の学習では、2年連続で東峰村の方に三輪小まで来ていただき、子どもたちにお話をしていただきました。

東峰学園でもこの体験を次につなぐために、今後3年間の防災学習計画を立てました。子どもたちには災害の怖さや日頃の心構え、支援いただいた方達への感謝の心など、忘れないで欲しいと思います。

次の赴任先で保護者の方から、「PTAは必要ですか?」と聞かれたことがあります。そんな時、「災害など何かある時に組織としてまとまった動きが出来るのがPTAです。子どもたちの安全・安心を守るためにもPTAは必要です。」と、東峰学園の例を出して話しています。

お話を聞く中で、東峰学園の先生方が日頃『チーム東峰』としてPTAと一緒に動いていたことや小中一貫校のよさが生かされたと感じました。  
議会もチームとして、東峰村の更なる発展と村民ひとり一人が幸せに過ごせるよう活動して参りたいと改めて感じるインタビューになりました。

ここを紡ぎたい

初期段階で最悪のことを

想定して準備ができた

防災無線での放送は

事実のみを伝えた

先生方の体調維持も

考えた人員配置

編集後記

東峰村でも豪雨災害・新型コロナウイルス感染症からの出口もやっと見えはじめ、期待と不安の中、新年度を迎えました。

世の中の常識・ルール・価値観などすべてにおいて、いろいろ変化しています。こんな時代だからこそ、顔を上げ明るく進んでいきたいものです。

議会としても、皆様の声を少しでもくみ上げ、新しい東峰村と一緒に作っていききたいと思います。  
(和田 将幸)

|          |       |
|----------|-------|
| 議会広報特別委員 | 高橋 弘展 |
| 委員長      | 佐々木 孝 |
| 副委員長     | 高倉美紀恵 |
| 委員       | 樋口 朗  |
|          | 和田 将幸 |
| 発行責任者    | 伊藤 均  |